



世界の安全を守る 顔画像インテリジェンス

FACEPOINTは、世界中のテロリスト、組織犯罪メンバー、制裁リスト対象者、政治的要人（**PEP**）などを含む、要注意人物（**POI**）の顔画像データベースを提供します。このウォッチリストは、弊社独自のオープンソース・インテリジェンス（**OSINT**）とビデオベースの画像収集技術を活用したものです。この包括的なソリューションにより、高精度なアラートを関係機関に提供し、効果的なスクリーニングとモニタリングを可能にします。これにより、捜査の効率化と犯罪の予防に大きく貢献します。

調査分野



制裁

公的な法規制執行リストに掲載されている者を含む、国内外の制限措置の対象となる人物のプロファイル



テロリズムと政治的暴力

テロリズムやその資金供与、戦争犯罪、大量破壊兵器、親政府民兵組織、政治的暴力に関与する人物のプロファイル



組織犯罪

武器密売、マフィア、ギャング、サイバー犯罪、薬物密売、密輸に関与する人物のプロファイル



金融犯罪

詐欺、贈収賄、汚職、横領、マネーロンダリングに関与する人物のプロファイル



政治的要人（**PEP**）

重要な公職にある人物のプロファイル

作成方針

FACEPOINTデータベースの品質は、最高コンテンツ責任者（Chief Content Officer）および各分野の専門家が監督する確固たる作成方針に基づいています。主なポイントは以下の通りです。

- ◆ **確固たる作成方針に基いたグローバル カバレッジ**：FACEPOINTデータベースは、世界中のあらゆる種類の国家安全保障上の脅威を網羅しています。
- ◆ **検証済みの情報**：情報、画像、情報源は、50人以上の調査分析官からなる社内チームによってレビューされます。
- ◆ **強化されたデータ収集**：FACEPOINTでは自動化とAIテクノロジーが中心にあり、チームは最も関連性の高いプロファイルを効率的に収集します。
- ◆ **適応性と柔軟性**：新たな脅威を特定し、常にモニタリングをすることで、クライアントの関心に合わせて作成の優先順位を調整します。
- ◆ **高い基準**：データの正確性と信頼性を確保するため、高いレベルの品質管理、定期的なレビュー、および更新が義務付けられています。

50名

独自の社内
調査分析官

230万

要注意人物
プロファイル

440万+

手作業で
検証した顔画像

50万+

プロパガンダと
組織犯罪コンテンツ

1200

毎年追加される
新しい組織

1100万+

キャッシュ
登録済みのURL

35万+

毎年追加される
新しいプロファイル

70万+

毎年レビューされる
プロファイル

導入形態

インターフェース	FACEPOINT API	FACEPOINT DATAFILE	顔認証エンジン内の FACEPOINT
説明	システムおよび既存のワークフローへの容易な統合のためのクラウドベースサービス（GUIなし）	オンプレミスで使用するためのFACEPOINTデータベース全体の納品	FACEPOINTデータベースと顔認証エンジンの組み合わせ
特徴	◆ クラウドベース ◆ 中・大規模 ◆ ゼロフットプリント ◆ APIのみ、GUIなし	◆ オンプレミス導入 ◆ 機密保持および高いセキュリティ	◆ オンプレミス導入 ◆ 顔認証エンジンとAPI連携し、FACEPOINTデータベース照合を自動化

次のステージへ：FACEPOINTの高精度データベースを 顔認証エンジンで活用

FACEPOINTは、独自の画像データベースを顔認証マッチング技術と組み合わせることで、要注意人物（POI）を正確に特定する能力を大幅に強化します。また、マッチングの曖昧さを解消し、誤検知アラートを大幅に削減します。

高度な顔認証検索エンジンは、FACEPOINTのデータベースにシームレスに接続でき、堅牢で効率的な顔認識機能を提供します。

顔画像に基づく生体認証は、犯罪予防と捜査における効率的なワークフローを実現する大きな可能性を秘めています。国境、公共の集会、主要なイベントで要注意人物を特定する場合や、法医学的捜査で使用される場合でも、そのスピードと利便性は比類のないものです。

さらに、顔認証スクリーニングは、人相によってのみ識別可能な匿名の要注意人物による新たな脅威の検出を支援します。これらの人物プロファイルは、洗練されたビデオ分析技術を使用して、独自の適格なマルチメディアコンテンツから手作業で抽出されます。これにより、自動化では困難な以下のようなケースにも対応する唯一無二の高精度な顔認証データベースとなっています。



身元不明の要注意人物

人相によって人物が特定されるが、名前が不明なケース



同姓同名の人物

名前が一般的であるために身元の特定が困難なケース



文書偽造

偽造された身分証明書のために人物の特定が困難なケース



生年月日の欠如

生年月日が欠如しているか不正確であるために人物の特定が困難なケース



音訳

異なる音訳表記のために人物の特定が難しいケース



人相の変化

整形や変装によって外見を変えようとするケース

FACEPOINTはどのように機能しますか？

- ❖ クライアントの組織は、個人のID文書や他の監視ソースから画像を収集します。
- ❖ 組織内で画像は、一連の数値で構成される独自の匿名「顔認証テンプレート」に暗号化されます。
- ❖ 検索エンジンはそれらの画像をFACEPOINTのデータベースと照合し、類似度を示す「マッチングスコア」を返します。
- ❖ 高いマッチングスコアが返された場合、そのケースは手動での判定のためにアナリストや担当官に引き渡されます。



ご相談はこちらから。

シストランジャパン合同会社

東京都港区六本木1-4-5 アークヒルズサウスタワー16階
03-4571-2020 / www.chapsvision.com / japan-support@chapsvision.com